

高島市制10周年記念事業 実施報告書



平成27年3月

高島市政策部企画調整課

1 概要

(1) 記念事業の推進

平成27年1月1日は、高島市が誕生してから10回目の記念日です。

市制施行以来この10年間は、旧6町村が一つのまちとなって歩いていく礎を築いてきた期間であるとともに、来るべき10年目は、新たな展開に向けての大きな節目でもあります。「高島市制10周年記念事業」は、10年の歩みを振り返り、市民が総出で記念の年を祝うとともに、次世代につなげていく新たな価値を創造するきっかけとなるよう実りあるものとしします。

事業推進のコンセプト

- (1) 市民の思いが共有され幅広い参加を得られるようにします。
- (2) 郷土への愛着心により市民の一体感の醸成につながるようにします。
- (3) 将来に向け持続的な効果をもたらすものとしします。

(2) 実施期間

平成26年4月1日から平成27年3月31日までとしします。

(3) 記念事業の種別および内容

種別	内容
市主催事業	10周年を記念する行事等で市が主催して実施するものをいいます。 市の広報紙や防災無線放送、ホームページを活用して記念事業の広報・宣伝を行います。
連携事業	市民団体等が実施する行事等で、推進方針のコンセプトに沿うと認められるとともに、市が後援するものをいいます。 市の広報紙や防災無線放送、ホームページを活用して記念事業の広報・宣伝を行います。
協賛事業	市民や市民団体等が自主的に記念事業として実施するものをいいます。(記念セール、新規商品販売・企画、記念販売など) 市による後援や広報・宣伝は行いません。

(4) 記念事業の構成

①記念制定・記念刊行物発行（市主催事業）

- ・市のシンボル制定（市の花・木・鳥）
- ・市制10周年記念市勢要覧発行

②冠事業の実施（市主催事業・連携事業・協賛事業）

- ・市主催事業は、10周年を記念する行事等で市が主催して実施するもの計26事業。
- ・連携事業は、市民団体等が実施する行事等で、推進方針のコンセプトに沿うと認められるとともに、市が後援するもの計24事業。
- ・当初、11月3日に記念式典の開催を予定していましたが、諸般の事情により執り行わないこととなりました。

(5) 推進体制

①高島市制10周年記念事業推進委員会（平成26年1月21日設置、26名）

官民が一体となって推進方針に基づき、事業の円滑な推進を図ります。

- ・第1回：H26. 1. 21 推進方針の決定、記念事業の募集推進
- ・第2回：H26. 3. 13 10周年記念キャッチフレーズ、ロゴマーク選定

②高島市制10周年記念事業推進本部（平成25年12月17日設置、20名）

推進委員会と連携して記念事業の円滑な実施のための全体調整を行います。

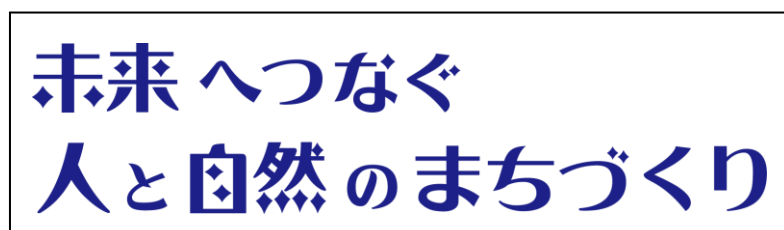
- ・第1回：H25. 12. 17 記念事業推進体制、記念事業の検討
- ・第2回：H26. 1. 28 推進方針、市主催事業の検討、連携事業の募集推進
- ・第3回：H26. 3. 14 市主催事業の確認、連携事業の対応等
- ・第4回：H26. 4. 22 記念事業の検討等
- ・第5回：H26. 5. 13 記念事業の検討等

(6) 記念事業のキャッチフレーズおよびロゴマーク

記念事業が、市民をはじめとする多くの皆さんにとって親しみを感じ、より大きな盛り上がりへとつながるよう、記念事業の統一のキャッチフレーズおよびロゴマークを作成し、市主催事業や連携事業などに広く活用しました。

平成26年1月8日（水）から2月28日（金）までの約2ヵ月間、キャッチフレーズとロゴマークの募集を行い、高島市制10周年記念事業推進委員会で厳正なる選考のうえ、決定しました。

■ キャッチフレーズ



【制作者】 斎藤洋士さん（千葉県茂原市） 応募総数348点

【説明】 人と自然の素晴らしいまちづくりを未来へつなぐことを表しました。

■ ロゴマーク



【制作者】 小島 力さん（大阪市西成区）

応募総数109点

【説明】 花をモチーフとした市章が鮮やかな大輪の花を咲かせたイメージで、市制10周年の成長と、今後の更なる発展を表現しました。

2 記念事業

(1) 記念制定・記念刊行物発行（市主催事業）

①市のシンボル制定（市の花・木・鳥）

- ・シンボルの制定にあたっては、高島市シンボル等制定委員会（9名、平成26年5月12日委嘱）を設置しました。
- ・高島市シンボル等制定委員会では、市のシンボルとしてふさわしく、市の風土・自然・生態系などにかかわりがあるか、市の一体感が高められるかなどの制定方針に沿って調査・検討を重ね厳正に選定されました。
- ・制定期日：平成26年10月10日

市の花 カキツバタ	市の木 サクラ	市の鳥 ヒバリ
		
6枚の花被片でなる花であることから、6町村の合併による成り立ちと更なる一体感を表します。	保全活動に取り組む市民の気概や人が集まり栄えるまちの姿、市の持続性、活動の継続性を表します。	「 ^{ひばり} 揚げ雲雀」といわれるように、高い所を目指して飛ぶように高い理想を掲げその実現を目指す市民の行動規範を表します。

②高島市市勢要覧「つながる、高島」発行

高島市が誕生してから10年を迎える今、市内ではさまざまな動きが芽生え、人々のつながりが生まれています。こうした動きの一端を捉え、前作の要覧と併せて、歩み続ける高島市の魅力を市内外に発信するため、市勢要覧「つながる、高島」を発行しました。この要覧は、人々の暮らしや新しい動きに焦点を当て、写真と短文で見やすく読みやすい内容となっています。

- ・発行部数：5,000部
- ・仕様：40ページ、オールカラー
- ・価格：1,000円（税込）



(2) 冠事業の実施 (市主催事業・連携事業)

①市主催事業

	事業名	上段:開催日	実施内容	上段:参加者数等
		下段:開催場所		下段:担当課
1	映画「じんじん」高島市上映会	平成26年4月 5日:高島市民会館(2回上映) 20日:やまびこ館(1回上映) 26日:藤樹の里文化芸術会館(2回上映)	「絵本の里」で知られる北海道剣淵町を舞台に、絵本の素晴らしさと親子の絆を描いた映画「じんじん」を高島市で上映した。作品を通じて、未来を担う子供たちをはぐくむ親子の関係を見つめなおす契機とするほか、人と人とのつながりによる市民団体の活性化を推進した。	722 人 映画「じんじん」 高島市上映実行委員会 【共催】市民協働課
2	第10回高島市市民体育大会	(夏季)平成26年5月～7月 (冬季)平成27年1月～3月 新旭体育館(総合開会式) 他	市民を対象にスポーツの競技力向上、健康維持増進およびコミュニティ醸成を図った。 ◆(夏季)21種目:参加者1,969人、(冬季)1種目:参加者 190人	2,159 人 市民スポーツ課
3	JR湖西線開通40周年記念事業	平成26年6月～平成27年3月 近江今津駅周辺 (7月20日記念イベント) 他	開通記念日の7月20日に近江今津駅周辺で記念式典や記念列車の運行、駅前にぎわい広場等を開催し、また、年間を通じて市内駅を活用した利用促進事業に取り組み、地域になくてはならない湖西線の重要性を再認識してもらうことができた。	記念式典 800人 記念列車 400人 交通対策課
4	たかしま子どもフェスティバル	平成26年6月29日 今津総合運動公園内サンルーフ今津およびその周辺	子どもがさまざまな文化活動・交流・体験等に主体的に参加し、楽しめるフェスティバルを目指して、青少年活動団体のステージ発表、活動発表展示コーナー、子どもたちが楽しめる体験活動コーナーなどを行った。	1,500 人 青少年課
5	第18回「琵琶湖周航の歌」音楽祭合唱コンクール	平成26年6月29日 高島市民会館	高島市をはじめ、全国各地から参加する合唱団が、課題曲「琵琶湖周航の歌」と自由曲で美しいハーモニーを競いました。また、歌が創られた背景を紹介するとともに、イベントを通じて多くの人々の文化的な交流を図った。	865 人 高島市民会館
6	高島文化芸能フェスティバル2014	平成26年7月5日・6日 藤樹の里文化芸術会館	湖西地域で活躍されている各種文化団体の皆さんによる舞踊、太鼓、大正琴、カラオケなどの発表会を開催した。	826 人 高島市民会館
7	2014びわこトライアスロン & ちびっこチャレンジin高島	平成26年7月6日 高島B & G海洋センターおよびその周辺	今年で26回目を迎える大会。成人、小学校高学年、小学校低学年の部門を設定し、健康増進と親睦を図った。 ◆トライアスロン:180人、ちびっこチャレンジ:96人	276 人 市民スポーツ課
8	陸上自衛隊第3音楽隊演奏会	平成26年7月20日 高島市民会館	全国的にも有名な陸上自衛隊第3音楽隊の演奏会を開催した。自衛隊と市民が交流をはかり、自衛隊に対する理解を深めてもらう事業となった。	800 人 高島市民会館
9	第23回びわ湖高島ペーロン大会	平成26年7月27日 高島市今津町南浜周辺	23回目を迎えた高島の夏の風物詩「びわ湖高島ペーロン大会」を市制10周年記念大会として開催した。 ◆チャンピオンシップの部:9チーム、フレンドシップの部:25チーム	700 人 観光振興課
10	第7回たかしま子ども美術展	平成26年7月29日～8月10日 藤樹の里文化芸術会館	幼稚園、保育園、小学校、中学校から約700点の平面作品が集う展覧会。市制10周年記念にちなんだ表彰を行った。	2,769 人 高島市民会館
11	たかしま発酵食文化カレッジ 開校記念イベント	平成26年9月14日 安曇川公民館	昨年度の「全国発酵食品サミットinたかしま」に続き、「美をかもす 味をかもす 心をかもす」のテーマに沿って、様々な角度から発酵食品の魅力を学ぶことができる「たかしま発酵食文化カレッジ」を開校した。開校を記念して、講演会、教授陣の紹介と交流会を実施した。	120 人 商工振興課
12	マキノカントリーフェスタ2014	平成26年9月28日 マキノピックランド・マキノ高原市内	秋の収穫祭「マキノカントリーフェスタ」を開催した。新鮮な農産物の直売のほか、栗のイガ投げ大会やステージイベントなど子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで楽しめるイベントとなった。	10,000 人 観光振興課
13	高島市観光物産プラザ オープニングイベント	平成26年10月1日～5日 高島市観光物産プラザ	産業振興と公民館・図書館機能を備えた複合施設、高島市観光物産プラザが10月1日にオープンした。オープンを記念して、安曇川はこぶね保育園の園児や鼓西太鼓による太鼓演奏、軽トラ市、お楽しみガラボン大抽選会等を実施した。	7,890 人 商工振興課
14	関西フィルハーモニー管弦楽団 リラックスコンサートin高島	平成26年10月5日 高島市民会館	本物のオーケストラによるクラシック演奏を楽しいお話と曲の解説を交えて親しみやすいプログラムで提供した。	582 人 高島市民会館

	事業名	上段:開催日	実施内容	上段:参加者数等
		下段:開催場所		下段:担当課
15	2014びわ湖高島栗マラソン	平成26年10月19日	今回で33回目を数える、高島市の一大イベント。マラソンを通して参加者相互の健康増進と親睦を図った。 ◆ハーフの部:1,050人、クォーターの部:565人、2Kmの部:255人	1,870 人
		マキノピックランド・知内川サイクリング道周辺		市民スポーツ課
16	市制10周年記念・高島トレイルツアー	平成26年11月1日～2日	高島市合併のシンボルとして整備してきた「中央分水嶺・高島トレイル」で記念行事を開催した。国際山岳ガイドで、エベレスト登山隊のテレビ番組でもおなじみの角谷道弘さんを招き、経験談を聞くフォーラムと、一緒にトレイルコースを巡るツアーを実施した。	100 人
		高島市マキノ地域		観光振興課
17	防災体験ひろば	平成26年11月9日	防災体験による防火意識の高揚を図るとともに、10年間の主な災害および活動を紹介した。	200 人
		高島市消防本部		消防本部
18	男女共同参画しっかり向き合ってみませんか!!フォーラム	平成26年11月15日	女性落語家 桂あやめさんを講師に迎え、「女と男の笑いでコミュニケーション」と題した講演と落語で男女共同参画の“現状”と“課題”、“これから”を楽しく語り合った。男女共同参画社会の実現のために、広い視野に立った価値観の醸成や市民意識の向上が図れた。	86 人
		安曇川公民館		高島市男女共同参画推進協議会【共催】市民協働課
19	第10回高島市美術展覧会・青少年美術展	平成26年11月21日～25日	平面、書、立体、工芸、写真の5部門。市制10周年を記念して、各部門最優秀作品に「市制10周年記念大賞」を授与した。また、会期中は簡単な工作体験や、持ち込み作品へのアドバイスを聞くことができる市民参加型の体験コーナーを設けた。	4,617 人
		新旭体育館		社会教育課
20	第1回FAIRY TRAILびわ湖高島トレイルランニングinくつき	平成26年11月23日	登山とマラソンを融合させたスポーツで、野山を軽快に駆け抜ける「トレイルランニング」が最近注目されており、世界でもトップクラスのトレイルランナー 鍋木毅さんの総合プロデュースによるトレイルランニング大会を開催した。	730 人
		高島市朽木地域		観光振興課
21	高島人権のつどい	平成26年11月30日	市民一人ひとりが、お互いの人権を意識し、尊重、互助、共生の地域社会の実現に向けて、「高島市人権のつどい」を開催し、人権標語優秀作品の表彰や住田裕子弁護士を講師に迎えた講演会を実施した。	361 人
		藤樹の里文化芸術会館		人権施策課・社会教育課
22	びわ湖ホール地域協働公演 オペラ「天国と地獄」	平成26年12月14日	びわ湖ホールと共同で開催するオペラ公演。声楽アンサンブルに加え、地元合唱団との共演を行った。	304 人
		藤樹の里文化芸術会館		高島市民会館
23	～滋賀のおいしいもの～ 「近江・高島フェア」	平成27年1月13日～19日	高島市物産振興会との連携により、高島市の特産品および観光PRを首都圏にある「そごう横浜店」の催事場において展開した。	10,000 人
		そごう横浜店		商工振興課
24	ひな祭りジャズコンサート	平成27年3月1日	今回で10回目のステージ、そして、ひな祭りジャズコンサート最後のステージとなり、ビッグベルとスイートベルが全力で熱い演奏を来場者に届けることができた。また、応援ゲストには、京都コンポーザーズジャズオーケストラを迎え、魅惑的なライブとなった。	561 人
		高島市民会館		高島市民会館
25	高島市誕生10周年記念事業「高島市さやま劇場+たかしま市民音楽祭」	平成27年3月15日	市制10周年を記念して、3年に1度開催している高島市さやま劇場と、たかしま市民音楽祭をドッキングして実施した。高島市に“あるもの”で高島市に“しか”できない舞台を届けることができた。	586 人
		高島市民会館		高島市民会館
26	たかしま★春の演劇祭	平成27年3月22日	ぶんげい演劇教室とつばめの公演と、劇団敦厚剛毅(とんこうごうき)の公演の2作品を上演した。	196 人
		藤樹の里文化芸術会館		高島市民会館

②連携事業

	事業名	上段:開催日	実施内容	上段:参加者数等
		下段:開催場所		下段:実施主体
1	第9回朽木鯖街道桜まつり	平成26年4月12日	朽木溪谷(朽木荒川)から朽木大野に続く安曇川堤防沿いの桜並木を観光資源と位置付け、都市住民と地元住民との交流により地域のイメージアップを図った。満開の桜の中で、観賞を中心としたイベントを開催した。	800 人 朽木・群・ひとネットワーク(桜まつり実行委員会)
2	第3回風車村さくら祭り	平成26年4月13日	新旭地域の観光の拠点である道の駅しんあさひ風車村において、地域の活性化そして未来に向けた新しいまちづくりをめざして「風車村さくら祭り」を開催した。湖岸さくらウォーキングや風車村マルシェなどを実施し、多くの来場者で賑わった。	4,500 人 風車村さくら祭り実行委員会
3	たかしま・未来・円卓会議	平成26年4月27日 他7回 今津東コミュニティセンター 他	高島の地域課題に対して、市民一人ひとりが気づき、「自分ごと」としてできることを考え、協働による解決の方策を考えることを目的に多様な主体が参画し円卓会議を開催した。参加者とともに【Ⅰ自然・Ⅱ観光・Ⅲ高齢者の生きがい人材活用】という3つのテーマを掘り下げ、「小さなビジネスの種」を見い出した。	208 人 たかしま市民協働交流センター
4	里山探検隊 <第一弾> 田植えをしよう!	平成26年5月10日 マキノ石場田圃	里山の自然を子供たちに存分に触れてもらい、その生物の多様性や豊かさを子供たちの心の奥底に刻むことを目的として、田植え体験をした。また、食育の観点から里山でとれたお米のおむすびを食べたり、絵本の読み聞かせや昔話の語りを参加者を楽しんでいただくことができた。	23 人 NPO法人絵本による街づくりの会
5	いにしへの鯖街道整備プロジェクト	平成26年7月20日 朽木生杉区、針畑区	地域集落の方の案内で歴史や植生を学びながら登山道の里山整備を行った。また、歴史ある神社等を見学し、地域の方等から集落の歴史や生活文化についてのお話を伺った。	32 人 ・一般社団法人安曇川流域・森と家づくりの会 ・NPO法人結びめ
6	里山探検隊 <第二弾> 夏のキャンプ	平成26年7月26日～27日 ペンションマキノ周辺	「自然はともだち、自然はふしぎ、自然はおどろき」をテーマに「夏のキャンプ」を実施し、地元の子どもたちと市外の子どもたちが里山体験を通じて交流した。活動前には、キャンプのプログラム内容に沿ったテーマの絵本を読み、体験活動と読書活動の融合を図った。	73 人 NPO法人絵本による街づくりの会
7	びわ湖杯争奪新人練習会	平成26年8月19日～21日 安曇川スポーツセンター	近隣府県の高校女子ソフトボール競技における新チームの技術力の向上とチームワークの強化を目指した大会を開催した。 ◆近畿・東海・北陸地方から7府県16校が参加	350 人 びわ湖杯争奪新人練習会実行委員会
8	高島・京都市民交流コンサート	平成26年8月24日 ガリバーホール	長い歴史の中で築かれてきた高島と京都の深い関係をもとに、高島市民と京都市民が互いの関係を再認識できるよう、音楽を通した市民交流を図るコンサートを開催した。	450 人 高島・京都市民交流コンサート実行委員会
9	ヒロシマ被爆ピアノコンサート	平成26年8月31日 今津東コミュニティセンター	平和への祈りをこめて、被爆ピアノにまつわるお話と被爆ピアノによる演奏会を開催した。 ※被爆ピアノとは、昭和20年広島に原爆投下時、被爆。爆風を受け、無数のガラスの破片がピアノの表面に突き刺さり、原爆の悲惨さ、戦争の愚かさを今もその存在が語りかけるピアノ。	200 人 NPO法人絵本による街づくりの会
10	未来につなぐ鐘がなる、高島文化活動祭	平成26年9月3日～7日 藤樹の里文化芸術会館	文化クラブの日頃の活動成果をもって「展示発表」と「舞台発表」、「クラブ体験」を公開し、楽しみ親しんでいただくとともに、文化の部門から生涯学習のまちづくりの機運を高め、高島市市制10周年を祝った。	862 人 高島市文化協会
11	ヴォーリズJAZZ NIGHT 2014	平成26年9月6日 今津教会	「ほんまもん」の演奏家と市民バンドによる元気で迫力ある演奏により、地域住民に対し、元気と明るさを発信した。また、市民有志の実行委員会で開催することにより、音楽によるまちづくりの一翼を担った。	200 人 ヴォーリズJAZZ NIGHT実行委員会
12	新旭ふくしまつり2014 ～つながる笑顔の地域力～	平成26年9月14日 新旭やすらぎ荘周辺	名称に「ふくし」という言葉が入っているとおり、単に楽しむだけの「まつり」ではなく、集うみんなが、楽しみながら「ふくし」を学ぶ場として実施した。福祉関係団体等の展示による活動紹介、福祉の理解を進めるスタンプラリー等のほかに昨年の台風18号被害を受けて、防災体験コーナーを設け、いざという時のための啓発も行った。	1,100 人 新旭ふくしまつり2014実行委員会
13	第5回ゆめばれっと高島フェスタ	平成26年9月15日 高島市働く女性の家	日頃、高島市働く女性の家を利用されているサークルの方たちの発表会を兼ねて施設の周知を行った。	500 人 NPO法人元気な仲間
14	男女共同参画講演会	平成26年10月4日 働く女性の家	世界の国を知ることにより、日本の良さと心がけなければならないこと、私たちができること等を学習する機会とした。 演題は、「消費税25%でも豊かな暮らし」として、ケンジ・ステファン・スズキさんの講演会を行った。	25 人 高島市男女共同参画推進協議会
15	第31回藤樹先生書道展および第17回小中学生藤樹先生書写書道作品展	平成26年10月21日～26日 藤樹の里文化芸術会館	中江藤樹先生の語句を課題にした書道展で、市内外の児童・生徒3,309点、一般246点と多数の出品があった。広く草の根的な書道教育を通じて、藤樹先生の教えの浸透と湖西地域の書の文化活動の発展に寄与した。	3,555 人 藤樹先生献書会

	事業名	上段:開催日	実施内容	上段:参加者数等
		下段:開催場所		下段:実施主体
16	たかしま市民まつり2014	平成26年11月1日	「～人・まち・自然～ たかしまの魅力・可能性は無限大」をコンセプトに掲げ、市民参加型の市民まつりを開催しました。たかしまの人のつながり、心のつながりを深め、高島の魅力を再発見することができました。キャンドルイルミネーションでは市制10周年をテーマのもと、「10th」の文字とロゴマークを、色とりどりのキャンドルで会場を彩りました。	1,500 人
		朽木市場周辺		たかしま市民まつり実行委員会
17	朽木鯖街道 秋まつり	平成26年11月1日	秋の朽木を高島市民に楽しんでいただくとともに、かつて鯖街道として賑わいのあつた文化を感じとれる内容となるよう工夫したことにより、地域住民の郷土に対する愛着心の醸成や文化意識の向上を図ることができた。	950 人
		道の駅 くつき新本陣		朽木・群・ひとネットワーク
18	たかしま市民活動フェスタ2014	平成26年11月8日	高島で活動する市民活動団体、ボランティアグループの繋がり、市民に市民活動やボランティアへの理解を広げ、出会いと参加のきっかけにさせていただくことを目的に開催した。フェスタ当日は、参加団体同士、来場者との交流、体験活動、模擬店、意見交換会などを行った。	500 人
		今津東コミュニティセンター		たかしま市民活動フェスタ2014実行委員会
19	第24回高島市書作研究会会員展	平成26年11月12日～16日	高島市書作研究会会員による書作品を展示することにより、高島市の芸術文化の振興を図った。また、市制10周年を記念して、関連した題材で作品作りをした。	178 人
		藤樹の里文化芸術会館		高島市書作研究会
20	2014年たかしま発酵食品&そばフェスタ	平成26年11月22日	発酵食品をはじめとする高島の伝統食品や、地場の農産物、特産品が一堂に会し、高島の魅力を再発見していただく一大イベントで、2日間で約14,000人が来場し、賑わった。	14,000 人
		今津総合運動公園		高島市産業連携協議会
21	風と土の交響in琵琶湖高島2014	平成26年(前半)11月28日～30日(後半)12月5日～7日	この地域を選んで移り住み、「高島だからできるステキな暮らし」を実践している造形作家や農林漁家などを多くの方に紹介し、交流を図った。開催5年目となり、出展者、地域住民そして来訪者の中で会期以外の交流が増え、当初の目的の一つである地域活性化への効果も表れ始めている。	4,700 人
		市内各地に点在する出展者の自宅・工房		風と土の交響プロジェクトチーム
22	市制10周年新春書展	平成27年1月1日～31日	市内の書家10人が市制10周年を祝い、高島にちなんだ言葉を作品にして発表した。	700 人
		今津サンブリッジホテル		書道研究西嶺会
23	第36回湖西書き初め展	平成27年1月24日～2月8日	高島市、大津市、長浜市を中心に書道芸術文化の向上を図ることを目的とし、合わせてその作品の鑑賞をもって文化芸術の振興を図った。また、市制10周年記念にちなんだ表彰を行った。	2,359 人
		藤樹の里文化芸術会館		湖西書き初め展実行委員会
24	第4回書道研究西嶺会書展	平成27年3月26日～29日	会員の習作作品と併せて、「高島を書く」と題して、郷土ゆかりの万葉集や高島に関する文言を課題にし、市制10周年の祝いの書道展を開催した。	400 人
		藤樹の里文化芸術会館		書道研究西嶺会

3 その他

(1) 広報

① 広報たかしま

- ・平成27年1月号巻頭特集「高島市制10周年特別対談～高校生と語る高島市の未来～」では、市長と市内高校生が「高島市の未来」をテーマに対談しました。
(コーディネーター：坂下靖子氏。高島高校から3名、安曇川高校から2名の生徒が出席)
- ・「振り返れば高島」を4回に分け、高島市の10年間の歩みを振り返り、出来事等を紹介しました。
- ・市主催事業や連携事業等を広報誌で紹介しました。

② ホームページ

- ・市ホームページ内に市制10周年専用ページを作成し、市主催事業や連携事業等を紹介しました。

③ 市作成封筒へのPR印字

- ・市作成封筒(長3、角2封筒)にキャッチフレーズおよびロゴマークを印字し、市制10周年をPRしました。
- ・平成27年3月中に、市のシンボル(市の花、市の木、市の鳥)を表示した市作成封筒(角2封筒)を作成・使用します。

(2) 高島市制10周年記念フレーム切手の販売

- ・日本郵便株式会社近畿支社から、高島市制10周年記念フレーム切手が販売されました。
- ・名称：高島の景観 高島市制10周年
- ・販売部数：1,000部
- ・販売郵便局：滋賀県高島市、大津市、草津市の郵便局(計75局)
- ・販売価格：1シート 1,230円



(3) 参考

《広報たかしま2015. 1月号 「祝高島市10歳。」・「私たちも10歳」》

特集

祝 高島市 10歳。

平成17年1月1日に産声を上げた県下一大きなまちは、10歳を迎えました。

この10年間の歩みは、市の仲間入りを果たして、名前だけではなく5万人余の人々や160を超える指定文化財、13の百選、380haの耕地と約37,000haの森林など、多くの資源を抱えた可能性高い地域としての結びつきを育んできた期間であったといえます。

しかし、まだまだ可能性はつきません。合併前からの長い歳月が培ってきた営みや精神の上に、さらに少し異なる視点や感性を加え、新たな価値を見出し続けています。今年、市内3番目に誕生する重要な文化的景観「大溝の水辺景観」などは、この地に特有の価値観と豊かさ

が認められたものの一つです。

高島市には、豊富な資源とともに多様な文化やものの見方が共存することにもなりました。多くの人材を市外から迎え入れ、芸術やスポーツ活動の幅も広がっています。交わりをさらに広く、深くし、多様性を認めるまちの姿勢が、これから訪れる多くの課題にも立ち向かう礎を作るものと考えます。10歳を迎えた今、これまでとこれからの両方に目を向け、皆さんとともに新たな伝統をつくる出発点にしたいと思います。

私たちも
10歳

高島市誕生と同じ、平成17年1月に生まれた子どもたちに高島の良いところや夢などについて聞きました。
(現在市内在住の方で合併後最初に生まれた皆さん)

おめでとうございます！
これからもすくすく成長してくださいね。

①高島市の好きなところは？ ②高島市の自慢できるところは？
③こんなまちに住みたい ④こんな大人になりたい (夢)

①温泉があるところが好きです。温泉に入ると気持ちいい！

②みんな元気にあいさつしてくれるところが自慢です。

③海の中にある町。雲の中にある町。ユニバーサルスタジオみたいな町。

④美しい女性になりたい！お父さん、お母さんに旅行をプレゼントする！

①外で思いっきり遊べるところです。

②びわ湖や自然の景色がきれいなところが自慢です。

③お店がたくさんあって便利なまちに住みたいな。

④病気で困っている人を助ける看護師か医者になりたいです。

①自然がたくさんあるところです。

②空気おいしいことが自慢です。

③街はきれいで自然が壊されることがなく、便利なシステムができて、みんなが不自由なく暮らせるところ。

④人の役に立って、みんなに愛される人になりたいです。精神科の医師になりたいです。

田村 鈴ちゃん
【得意なこと】
歌。バトンをまわすこと。

杉原 羽奈ちゃん
【得意なこと】
ピアノ

中村 にこちゃん
【得意なこと】
計算

3 たかしま 2015.1月号

祝 高島市10歳。

象に、自転車盗難を防ぐために、鍵かけ推進活動「ロックDEガード」を行っています。
「畑中さん」 私の所属する吹奏楽部では、たかしまん、Sの活動に協力して市内の福祉施設などで演奏しています。
「司会」 へえ。警察署と連携して地域防犯を進めているんですね。市長の高校時代はどうでしたか？
「市長」 今の皆さんの話を聞いて恥ずかしいぐらい、何もしていません。(笑)
 スキー部に入っていたのですが、スキーを買わなければなら



清水 大輝くん
高島高校3年 生徒会 会長

生徒会のほか、JRC（青少年赤十字活動）部に所属し、老人ホームを訪問するなどボランティア活動にも励む。将来は「ゲームづくりなど理工系の仕事がしたい。」

「司会」 アルバイトを通していろいろな社会経験を積まれていたということですね。
 では、皆さんが過ごしてこられたそれぞれの、ふるさと、の好きなどころを聞いてみたいと思います。
「中村くん」 僕は、大津市の北比良に住んでいます。高島には比良にはない自然を感じました。人が守ってきた自然だなと感じますし、すごく印象に残っています。
「畑中さん」 私も自然がいっぱいあるところがとても落ち着きますし、高島市の良いところだと思います。

ふるさと高島の好きなどころ

いし、遠征費用も必要だし、結構お金が必要でした。親にばかり負担をかけられないので、高校1年からの夏休みは、ほとんどガソリンスタンドや、スイカの収穫などのアルバイトと部活に明け暮れていました。バイトを通して、いろいろな人と接し、また、目標に向けて一生懸命に働くことが、いろんな意味で非常に勉強になったと思います。



中村 賢悟くん
安曇川高校3年 生徒会 前会長

生徒会のほか、サッカー部に所属。金属加工を学ぶために安曇川高校に入学。将来の夢は、自分だけの技術で作った製品を、世界中の人に使うこと。でも本当の夢は自分の給料で親とお酒を飲むこと。

北比良とは違うところがある。山

「清水くん」 僕も自然環境が良いと思います。また、近所づきあいがあることも小さい時から感じていたので、これが地域の良さだと感じます。
「堅田くん」 自然の中の育見は、子どもが穏やかな性格に育つらしいので、僕も自然に対してはすごく魅力を感じています。
「司会」 なるほど、自然の豊かさが共通の意見ですね。
「市長」 中村君も言ってくれたように、この辺は、北比良とは違うところがある。山

があり、平地があり、河川があり、湖があり、それはやはり残していかなければならないと思います。また、高島には市外県外から移り住まれる方が比較的多く、そうした方からよくお聞きすることがあります。「この間も道を歩いていたら、私がこの誰かわからないのに、わざわざ、「こんにちわ、いいお天気ですね」と、声をかけてくれます。」と前にお住まいになつていたところではそんなことは有り得ないと驚かれます。高島にいとそれが当たり前の前なのですが、その当たり前のことが他府県の方にとってはとても新鮮で温かく感じる。そういう土地柄も高島の魅力です。また、高島市では、集落単位で区や自治会があつて、区長さんがいて、隣組があるなど、自治会で日常的に助け合いに取り組まれています。それが、地域内でお互い様のつながりを伝承してきた高島の魅力であり、強みだと思います。

「司会」 そうですね、人の関係が密着に残っているって、安心な暮らしには必要です。
 では、反面、不安なことはあり



坂下 靖子さん (司会)

谷田 優香さん

中村 賢悟くん

清水 大輝くん

畑中 優果さん

堅田 一弥くん

高島市制10周年記念 特別対談

「高校生と語る 高島市の未来」

高島市制10周年を記念し、市長と、これからの未来の市を支えていただく高校生の皆さんとで、「高島市の未来」をテーマに対談をしていただきました。

地域に根ざした高校生の活動

「司会」 今日は、高島高校と安曇川高校の生徒会の皆さんをお招きして、「これからの高島市」について市長とお話をさせていただこうと思います。
 高校生の皆さんは地域と関わりがある活動をされていますので、その活動について聞かせていただけますか。
「中村くん」 安曇川高校では、7年ほど前から「舎外清掃」に力を入れています。月に2、3回、生徒会、部活動、先生など総勢70人ぐらいが参加して、駅や通学路、近隣の田んぼの周りのごみ拾いを行っています。この活動は、自分たちが使わせてもらっている場所をいつもきれいにしようと考えて続けています。周りの住民の方か

らは、「いつもありがとう」と声をかけてくださったたり、「私たちも一緒にするわ」といって僕たちの活動に参加してくださったたり、すごく協力していただいています。
「司会」 そうですか。いい関係ができていますね。では、高島高校はどうですか。
「清水くん」 高島高校では、3、4年前から生徒会を中心に、さまざまな部活動の協力を得て「たかしまんS」を結成し、高島警察署の方と一緒に防犯活動をしています。あいさつ運動の展開や、詐欺に遭わないために老人ホームを訪問し啓発の歌を披露したり、街頭で啓発活動をしたりしています。また、生徒や駅の利用者に対



福井 正明
高島市長

安曇川町で生まれ育つ。滋賀県庁を平成24年11月に退職し、平成25年2月に第3代高島市長に就任。好きな言葉は「公明正大」

祝 高島市 10歳



谷田 優香さん
安曇川高校2年
生徒会 前副会長

生徒会のほか、今夏開催される全国高等学校総合文化祭の実行委員として広報デザインを担当。将来の夢は決まっていらないが、「声をいかした仕事に就いてみたい」とも。

誇りであると思います。しかし、このまま人口減少に歯止めをかけずに、放っておいてもいいという訳では決してありません。高島のいろいろな魅力に惹かれ、高島に惚れ込んで移り住まれる方が徐々に増えて来ています。そういう方を増やしていく努力と併せて、例えば企業に来てもらう、若い人の働く場所を作ってもらうことも必要になります。そのためにも、もっと道路環境や鉄道など、身近な基盤整備を進め環境を整えて、企業誘致をしていくと

納得しました。「堅田くん」僕が不安に感じていることは、このまちが地方交付税や交付金などに頼っている財政の状態のことです。ある人からは市民の税金は、職員の給料にほぼ消えていると聞きました。「市長」堅田くんが言ってくれた財政状況については、そのとおりです。市の決算は、約270億円ぐらいで、その内、地方交付税が41%の約118億円、税金やその他の収入など自主財源が約3割で市税収入が約58億円。人件費は約50億円だから、税金はほぼ職員の給料に充てられることになっています。しかし、市役所の仕事はマンパワー、つまり人がサービスを提供する。例えば福祉とか、教育とか、商工や観光であっても市役所の職員が政策立案をして、その政策を実行することによりサービスを提供していく。公務員は、マンパワーの実力を上げ、住民の皆さんへのサービス水準を上げていくことが使命なんです。「司会」畑中さんはどうですか？「畑中さん」私は、電車の本数が少ないことや若者が集える場所が

まちづくりに大切なもの

「司会」この地域のまちづくりに最も大切なものは何だとお考えでしょうか？「市長」そうですね。大事なことは、この地域を将来にわたって存続をさせていくこと。みんなが次の世代としてしっかりと引き受けてもらえるようなまちづくりを行うことが私たちの責任であって、自信と誇りをもって、しっかりと次の世代に引き継いでいく。それが、大きな思いとしてあります。高齢者を含めて、全ての人が日々の生活に自信や、誇り、あるいは豊かに穏やかな気持ちで生活をしていただけるような、まちづくりを進めていく必要があります。一人暮らしの高齢世帯も、増えてきていますが、例えば、地域で、連絡も見守りも何もないので、その人が互いにしっかりと支えあえるようなまちづくりをしていくことが本当に大切だと思います。互いがつながり、支え合っていて、誇りと自信を持って暮らして



皆さんにとって大切なことは人を大切にすること、同時に自分を大切にすることだと思っています。また、できるだけ時間を忘れて没頭できる趣味を持つようにしてください。人生いろいろ苦労したり、失敗したりすることもあると思いますが、その

いく。そういうまちづくりを目指す必要があると思います。「司会」今日は、社会科の授業のようで、地域の勉強になったように思います。それでは、いろいろな進路を歩まれる高校生の皆さんに向けて市長からメッセージをいただきたいと思っています。「市長」今日はよく来ていただいてありがとうございます。私も日々いろいろな課題や、苦労などが続いている中で、今日は本当に楽しい時間を過ごすことができました。皆さんにとって大切なことは人を大切にすること、同時に自分を大切にすることだと思っています。また、できるだけ時間を忘れて没頭できる趣味を持つようにしてください。人生いろいろ苦労したり、失敗したりすることもあると思いますが、その



司会 坂下 靖子さん
たかしま市民協働交流センター
事務局長

青年海外協力隊で活動された後、滋賀県国際協会や淡海ネットワークセンターでの勤務を経験。現在は市民活動の相談などを行っている。

経験は絶対にプラスになると思いますが。がんばってください。「高校生一同」ありがとうございます。

人口減少が進む中、若者の定住を推進するためには、その活躍の場を地域全体でつくるのが重要です。これからの一層、地域に根ざす人材の育成に地域ぐるみで取り組んでいきたいと思えます。



畑中 優果さん
高島高校3年
生徒会 副会長

生徒会のほか、吹奏楽部に所属。市のイベントや、地域にある施設から依頼を受け、演奏することも。ホルン担当。将来の夢は看護師。

ますか？「谷田さん」今、櫻庭野演習場の付近で道路整備がされていて、そこに道を整備する必要があるのかと疑問に感じています。「市長」宮の森公園の前面道路の道幅が狭いですよね。今は、そこを自衛隊の大型車両が通行していますので、そこを車で通行される方は離合に苦労されています。それを解消するため、自衛隊の車両が一般道路を通行しないで済むように自衛隊が演習場内に道路の整備を進めています。「谷田さん」そうですか。今日、自衛隊のものとわかりましたので

少ないというところが心配です。「市長」畑中さんの言ってくれた電車のことには触れれば、JRにお願いして防風柵の整備を進めていただいているのですが、来年から比良、志賀間の防風柵を整備していくこととなります。また、今後の鉄道整備計画の中で湖西線の風対策は今後かなり改善されてくると思います。「司会」そうですか。早く改善が進み遅延や運休が減ってくれば「市長」高島市の人口は確かに減少しています。人口が増えるということは地域の活性化にとっては無くてはならない要因ではあるけれども、一方で、極端な例かもしれませんが、他市の事例を見れば、急激に人口が増加する地域では自治会活動などが根付きにくく、そのためさまざまな課題が発生するという側面を持っていることも事実です。また、高齢化と少子化とかいろいろ言われていますが、高齢化とはそんなに悪いことなのかと疑問に思います。逆に言えば、高齢化の要因には、一つに福祉の充実であるとか、医療の充実が背景にあり、結果として年齢が伸びているのだから、これはある意味



かすや 一弥くん
高島高校3年
生徒会 副会長

生徒会のほか、水泳部に所属。将来の夢は、公認会計士または行政に携わる仕事。「地元との密接な距離感で地域の人がつなげて、政策立案したい。」

安心して通勤通学ができますね。他にはありませんか？「中村くん」僕が、少し問題だなと感じる部分は、少子高齢化が進んでいることです。「清水くん」そう、僕も子どもが減っていることに不安を感じます。地域のつながりを生むためにも子どもたちは重要な存在だと思います。「司会」なるほど、では、市長は少子高齢化についてどのようにお考えですか？「市長」高島市の人口は確かに減少しています。人口が増えるということは地域の活性化にとっては無くてはならない要因ではあるけれども、一方で、極端な例かもしれませんが、他市の事例を見れば、急激に人口が増加する地域では自治会活動などが根付きにくく、そのためさまざまな課題が発生するという側面を持っていることも事実です。また、高齢化と少子化とかいろいろ言われていますが、高齢化とはそんなに悪いことなのかと疑問に思います。逆に言えば、高齢化の要因には、一つに福祉の充実であるとか、医療の充実が背景にあり、結果として年齢が伸びているのだから、これはある意味

安心して通勤通学ができますね。他にはありませんか？「中村くん」僕が、少し問題だなと感じる部分は、少子高齢化が進んでいることです。「清水くん」そう、僕も子どもが減っていることに不安を感じます。地域のつながりを生むためにも子どもたちは重要な存在だと思います。「司会」なるほど、では、市長は少子高齢化についてどのようにお考えですか？「市長」高島市の人口は確かに減少しています。人口が増えるということは地域の活性化にとっては無くてはならない要因ではあるけれども、一方で、極端な例かもしれませんが、他市の事例を見れば、急激に人口が増加する地域では自治会活動などが根付きにくく、そのためさまざまな課題が発生するという側面を持っていることも事実です。また、高齢化と少子化とかいろいろ言われていますが、高齢化とはそんなに悪いことなのかと疑問に思います。逆に言えば、高齢化の要因には、一つに福祉の充実であるとか、医療の充実が背景にあり、結果として年齢が伸びているのだから、これはある意味

10周年
振り返れば
高島

平成17年～18年編

合併後の歩み出し

平成17年1月、湖畔で一斉に水柱を立てた出初式で、合併した高島市の名のもとに再編された消防団が始動しました。他にも多くの組織等が、合併とともに再編され、市を支える自治の礎として機能していきました。そうした地域力を試すかのように、平成18年の冬は豪雪が本市を襲いました。積雪が2メートルを超える集落もあり、朽木で土砂崩れ、各地で家屋倒壊の被害が発生するなど、事態に、市では雪害対策本部を設置し、官民協力してこの対応にあたりました。

平成17年9月には吹田市と、平成18年4月には守口市と、それぞれ旧町時代のご縁を市全体のつながりに発展させるため、災害応援協定等を締結するとともに、平成17年11月の建設業協会高島支部との災害応援協定を含め、自治体機能を補完するつながりを築いてきました。

一方で悲しい出来事もありました。平成18年7月に、2歳の幼児が保護者の虐待により死亡するという痛ましい事件が発生しました。こうした悲劇を二度と繰り返さないために、地域ぐるみで児童を保護する仕

組みを整えてきました。

地域資源に光を

平成17年5月に高島市誕生記念式典が開催され、記念のフォーラムで、本市にある人と自然の関わりの中でつくり出されてきた独特の文化や景観を次世代に引き継ぐ必要性が説かれました。平成18年2月の美の里づくりコンクール農村振興局長賞（計江区）受賞や同年8月の快水浴場百選（マキノサニビーチ）選定などは、地域資源を守り育てる取り組みが評価されたといえます。

また、平成18年2月に始動した大家友和ベースボールクラブ高島の活動は、野球でプロを目指す若者の夢実現の舞台としての高島の可能性を大いに感じさせるものでした。平成18年6月にオープンした道の駅「藤樹の里あどがわ」は、今や近畿の道の駅でもトップクラスの売り上げを誇る施設となりました。これは、高島の産品等が評価されたものと考えられます。



平成17年1月1日に行われた高島市開市式

企画調整課 図(25) 8114

高島市制10周年
未来へつなぐ 人と自然のまちづくり



平成19年～20年編

地域の新たな評価

平成19年から平成20年にかけて市内では、歴史上の偉人の記念年としてさまざまな行事でにぎわいました。近江国高島郡三尾の地で誕生したオホド王こと第26代継体天皇が、河内樽原宮で即位してから1500年を迎えた平成19年に継体天皇即位1500年記念事業を、また、近江聖人と讃えられた中江藤樹先生生誕400年祭が平成20年に実施され、本市の悠久の歴史に思いをはせることができました。

平成20年3月に重要な文化的景観として選定された「海津・西浜・知内の水辺景観」、同年4月、市内全域の「森林セラピー基地」認定、同年6月「針江の生水」の「平成の名水百選」選定などは、私たちの周りに普通にあると思っているものが、かけがえのないものであることを証明されたことといえます。

合併により旧3町村で整備されてきた遊歩道等がつながり全国に



発信できる資源となった「高島トレイル」の整備も本格化し、平成19年10月に全国トレイルサミットが開催されました。平成20年11月に6観光協会の合併により発定したびわ湖高島観光協会をはじめ多くの団体等により、有効な地域資源の活用・情報発信の基盤が整いました。

また、平成19年4月に今津町椋川の旧今津西小学校椋川分校校舎を使い、国の構造改革特区制度を活用し、ECC学園高等学校が開校しました。自然豊かで、生活文化や人の温かみが体感できる地域性が、教育や人間形成の環境に適していることを認められたものといえます。

拡大する連携

このほかにも、さまざまなパートナーと地域づくりに取り組む枠組みができた時期でもありません。平成19年5月には滋賀大学と、同年12月には成安造形大学と包括連携協定を結び、研究機関との連携による取り組みの礎を築きました。森林公園くつきの森の指定管理者であるNPO法人麻生里山センターと太陽生命保険㈱では「琵琶湖・高島森林づくりパートナー協定」を締結(平成19年11月)し、民間企業との連携により環境を守るモデルが形成されました。また、市内の若者が中心となって初めて開催された「たかしま市民まつり」(平成19年9月)、市内の市民活動団体が互いに情報交換や連携を図るために開催された「たかしま市民活動屋台村」(同月)など、市内外でさまざまな連携の枠組みが形成されていきました。

広大な市の範囲をカバーするため、その基盤づくりにも平成19年から20年にかけて取り組んできました。インターネット環境を生かしたインターネットテレビ「高島みてねっと」やメール配信サービス「リアルタイム高島」、地域SNS

「高島きてねっと」(平成26年3月で終了)を整備し、地域内の情報を結び手段として市の一体化に役割を果たしています。

課題への対応

平成19年3月に策定した高島市総合計画で定めたまちづくりの基本構想をもとに、未来に誇れる環境保全条例(平成19年3月)・若者定住促進条例(平成20年6月)などの制定とともに、地域通貨「アイカ」の発行開始(平成19年4月)、公立高島総合病院(当時)の産婦人科再開(平成19年4月)、病児保育のスタート(平成20年11月)、JR湖西線の防風柵完成(同年12月)などの懸案の施策が進められた時期でもありません。



高島市制 10周年
未来へつなぐ 人と自然のまちづくり

10th anniversary

10周年
振り返れば
高島
平成21年～22年編

暮らしと自然がかかわりあう
高島の価値発信

平成21年、自然とかがわる暮らしの魅力に魅れる旅行形態を新たな観光の核とすべく全国エコツーリズム大会いびわ湖高島が開催されました。開催日の2月5日から7日まで、「エコツーリズムの日」として日本記念日協会に登録されることになりました。平成22年1月には高島有機農法研究会が田園自然再生活動コンクールで農村振興局長賞の表彰を受けたほか、同年3月には、淡海湖が農林水産省の「ため池百選」に、同年8月には「針江・霜降の水辺景観」が重要な文化的景観に選定されるなど、暮らしと自然の関わりが高島の価値であることが発信される出来事でした。

市民・地域との連携

市民団士の、また行政との協働によるまちづくりを加速させるために、たかしま市民協働交流センターや高島市国際協会などの開設や、市民の目線でまちの課題の解決を図る協働提案制度を創設したのもこの時期です。高島市のファンが移住して

一緒にまちづくりの担い手となるよう地域との橋渡しをする定住相談窓口も設置し、新たな活力を迎える体制も整えました。平成22年11月に公演された市民劇2010などでは躍動する市民の姿が見られ、また、地域ぐるみで子どもを学びを支えようと平成22年4月には高島学園で思ひを上げた小中一貫教育にも、地域の意思が表れています。

まちの基盤の整備

災害への備えを固めるため(社)県工ルビータス協会高島支部との応援協定や市医師会・歯科医師会・市薬剤師会との医療救済活動に関する協定、(社)県トラック協会湖西支部との物資輸送に関する協定がそれぞれ締結されました。また、平成18年3月から地滑りにより通行止めであった国道367号も平成21年3月に復旧し、また、国道161号バイパスの新拓・安曇川間が平成21年5月に、高島工区の本線が平成22年3月にそれぞれ開通し、京阪神への交通アクセスの基盤整備が進みました。

かほた
ため池百選に選定された
針江湖

高島市制 10周年
未来へつなぐ 人と自然のまちづくり

10th anniversary

10周年
振り返れば
高島
平成23年～25年編

孤立集落の生活を守る!!
自衛隊等の支援活動

平成23年、24年の冬は、高島が大雪に見舞われました。平成23年1月には、市職員が雪かき隊が高齢者世帯などの支援に当たり、平成24年2月には、大雪により孤立した集落の生活を守るため自衛隊の出動を得て、日常生活を取り戻すに至りました。

**孤立集落の生活を守る!!
自衛隊等の支援活動**

平成23年、24年の冬は、高島が大雪に見舞われました。平成23年1月には、市職員が雪かき隊が高齢者世帯などの支援に当たり、平成24年2月には、大雪により孤立した集落の生活を守るため自衛隊の出動を得て、日常生活を取り戻すに至りました。

**9・16ショック
豪雨災害からの学び**

平成25年度は、大きな災害や事件が重なりました。特に、9月に接近した台風18号は本市に豪雨をもたらした。一級河川鴨川の決壊や山間地の土砂災害、出水による浸水などの被害が発生しました。数十年前受けたことのない大きな被害にもかかわらず、日常生活を取り戻せた背景には、大勢のボランティア、各機関・事業所等の災害支援、そして多くの義援金等によるもので、人と人が支え合う力の大きさに改めて気づかされた出来事となりました。この大きな災害を教訓に、平成23年以降も吹田市をはじめ農業協同組合4団体、県石油商業組合高島支部、市漁業振

大気中の放射線量の測定を開始しています。また、平成25年4月に滋賀県、長浜市、関西電力機、日本原子力研究、日本原子力力研究開発機構および本市との間で原子力安全協定を締結するに至りました。

**悲願の市民病院開院と
歴史文化の厚みを実感**

喜ばしい出来事もあります。市民記念館の高島市民病院の開院、それに先立つ近江高島駅のエレベーター設置が叶うなど生活基盤がまた一つ整いました。さらに、上御殿遺跡からの双環柄頭短剣の鋳型出土、高島の発酵食文化にスポットを当てた全国発酵食サミットや清水安三先生の生涯をつづつた市民劇の成功など、高島の歴史・文化・伝統の厚みに触れたことではないでしょうか。

高島市民病院開院
全国発酵食サミット

未来へつなぐ
人と自然のまちづくり